



● 図書館 ●

白山市図書館ネットワークを生かした 学校図書館支援



白山市学校図書館支援センター 大橋 留美子

白山市の小・中学校 28 校には専任の学校司書がいます。学校図書館は、先生や子どもたちからの資料依頼、レファレンス、読書活動に関する工夫を凝らした企画・運営、読書意欲を駆り立てるテーマ展示など多岐にわたる図書館サービスを日々提供しています。

そんな学校司書と連携・協力して学校図書館を支えているのが、白山市立松任図書館内にある学校図書館支援センターです。ここは、市立図書館から学校への貸出資料や学校間の相互貸借資料が集まる場所でもあり、週に 2 回の学校配送を行っています。

学校図書館支援室書庫は、学校が優先的に使える資料を約 8,700 冊所蔵。利用時期の重なりを考慮し、調べ学習や利用指導、並行読書でよく使う資料を複本で揃えているのが特徴です。また、白山市は 11 年前から、公益財団法人 図書館振興財団主催の「図書館を使った調べる学習コンクール」に参加しているので、夏休みにはこれらの資料が大活躍します。

このような資料提供以外にも、子どもたちと本をつなぐ企画として、学校展示を実施。授業で作った POP や、並行読書での紹介文、読書感想画などを学校から借り

て対象の本と一緒に松任図書館に展示しています。貸出につながるだけでなく学校の様子を地域の方に発信でき毎回好評を頂いております。

また、昨年からはじめた「白山市立図書館ビブリオバトル中学生大会」も力を入れている企画の一つです。市内の松任中学校が平成 25 年度から「生徒会 & PTA ビブリオバトル」を現在まで 8 回開催し、毎回バトラー希望多数で、当日は観覧者が会場を埋め尽くす人気ぶりです。この状況を聞き、ぜひ市立図書館でもやろうと中学校に協力頂き開催しています。夏の大会も多くの観覧者で賑わい、展示した関連本もあつという間に貸出されました。

今後も、しっかりと構築された白山市図書館ネットワークを生かして、多方面からいろいろな方法で子どもたちに多くの本を手渡していきたいと思っております。

